

角田市水道ビジョン取組状況（令和5年度）

基本目標1 安全「安全でおいしい水の供給」

実現方策1-1 水源水質の保全	<水道ビジョン年次計画>											※達成状況：○達成、△取組中、×未達成、－該当なし		
施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等	
水源地域における水質異常等の対応	随時対応	随時対応	→	→	→	→	→	→	→	→	→	○	大雨時や取水口工事等の際は、取水停止で適切に対応した	

実現方策1-2 水質管理体制の強化	<水道ビジョン年次計画>													
施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等	
末端給水栓の毎日検査の実施	実施	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	○	例年通り8か所で毎日実施した(基準超過項目なし)	
広域協議会による水質基準項目の実施	実施	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	○	法令基準どおり原水及び浄水の検査を実施した(基準超過項目なし)	
水安全計画の見直し・運用	見直し	運用	→	→	→	→	→	→	→	→	見直し	○	R3末に水安全計画を策定し、R4から運用している	

実現方策1-3 給水装置の安全性の確保	<水道ビジョン年次計画>													
施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等	
工事事業者に対する適切な指導	随時実施	随時実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	○	設計審査・工事検査時において適切に指導を行っている	
鉛管使用判明時の速やかな布設替	随時対応	随時対応	→	→	→	→	→	→	→	→	→	○	給水管漏水時に2件判明し布設替えを行った	

実現方策1-4 貯水槽水道の適切な管理	<水道ビジョン年次計画>													
施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等	
管理者に対する点検等管理の指導	随時実施	随時実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	－	とくに指導が必要な案件はなかった	

業務指標による現状と目標値	※目指すべき方向												目標値	
業務指標	方向	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R5進捗説明等
平均残留塩素濃度（mg/L）※水道法0.1以上	→	0.3	0.4	0.4	0.3								0.2	いわゆる「おいしい水の要件(0.4以内)」の範囲内である
最大カビ臭物質濃度水質基準比（％）	↘	0.0	0.0	0.0	0.0								0.0	検出されなかった
総トリハロメタン濃度水質基準比（％）	↘	9.7	9.7	10.2	10.2								9.0	概ね数値の変動はなかった
有機物（TOC)濃度水質基準比（％）	↘	18.3	18.3	16.0	16.0								18.0	概ね数値の変動はなかった
重金属濃度水質基準比（％）	↘	0.0	0.0	0.0	0.0								0.0	検出されなかった
無機物質濃度水質基準比（％）	↘	3.0	3.0	3.0	3.0								3.0	概ね数値の変動はなかった
有機塩素化学物質濃度水質基準比（％）	↘	0.0	0.0	0.0	0.0								0.0	検出されなかった
消毒副生成物濃度水質基準比（％）	↘	2.6	2.8	3.1	3.4								2.5	若干数値が上昇したが、水質基準上限の1/30と低い値である
原水水質監視度（項目）	↗	51	51	51	51								51	法令に基づき適切に行った
給水栓水質検査(毎日)箇所密度(箇所/100km ²)	↗	5.4	5.4	5.4	5.4								10.0	例年通り8か所で行った
水源の水質事故数（件）	↘	0	0	0	0								0	対象の事例はなかった(一時的な濁度上昇時は取水停止で対応)

角田市水道ビジョン取組状況（令和５年度）

基本目標２ 強靱「強靱な水道施設の構築」

実現方策2-1 管路の更新・耐震化の推進	＜水道ビジョン年次計画＞												※達成状況：○達成、△取組中、×未達成、－該当なし
施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等
管路更新計画の着実な実施	1.87km	約2km	約1km	→	約2.5km	→	約3km	→	→	→	→	×	旭町地内等(約1km)の配水管布設替工事を実施した(水管橋を優先する)
水管橋長寿命化事業の実施	雑魚橋川		高倉川	尾袋川	その他	→	→	→	→			○	計画どおり高倉川水管橋の長寿命化工事(塗装・耐候シート)を実施した

実現方策2-2 施設の更新・耐震化の推進	＜水道ビジョン年次計画＞												
施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等
浄水場施設等の耐震診断の実施			検討	→	→	→	耐震診断	耐震検討	→	→	→	－	各施設の状態を見極め、計画期間中の適切な時期に耐震診断を行う
江尻取水施設の解体撤去等の実施	解体設計	河川協議	上屋解体設計	上屋等解体	地下槽検討	→						△	アスベスト調査を含む上屋解体に係る設計業務を実施した(解体はR6へ延伸)
小田浄水場の解体撤去等の実施			検討	一部解体	跡地整理							△	地元説明を行った上で、R5末で稼働停止した(跡地整理を検討中)

実現方策2-3 計画的配水管網の整備	＜水道ビジョン年次計画＞												
施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等
計画的なバイパスルート の整備		中島下地内	随時検討	→	→	→	→	→	→	→	→	－	整備対象の管路はなかった
水道台帳システムの精緻化	台帳整備		精緻化	→	→							△	R5システム更新に伴い使用者台帳との紐づけを行った(R6以降精査検証)

実現方策2-4 応急復旧対策の強化	＜水道ビジョン年次計画＞												
施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等
管工会との協定継続・点検の実施	実施	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	○	災害時の応援協定を継続し速やかに復旧ができるよう体制を整えている
災害時マニュアル等の整備		順次整備	→	→	→	→	→	→	→	→	→	△	策定に向け整理検討している(体制等は地域防災計画で明記している)

業務指標による現状と目標値	※目指すべき方向												目標値	
業務指標	方向	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R5進捗説明等
施設利用率（％）※平均/能力	↗	66.8	68.3	71.0	77.3								80.0	施設利用率は伸びているが有収率の低下によるもの
最大稼働率（％）※最大/能力	↗	100.1	126.4	79.8	90.6								95.0	最大稼働時は広域水道受水の増量で賄った(小田浄水場縮小のため)
負荷率（％）※平均/最大	↗	66.7	54.0	88.9	85.3								80.0	負荷率は目標値を上回り安定的な供給を継続した
漏水率（％）	↘	14.5	16.0	16.0	20.6								10.0	見えない漏水により有収率が大幅に低下した（原因を特定し、R6中に対策を講じる）
有効率（％）	↗	85.5	84.0	84.0	79.4								90.0	
有収率（％）	↗	82.0	80.5	80.6	75.9								86.8	
配水池貯留能力（日）	－	1.0	1.0	1.0	0.9								1.0	配水量に対し極端な過不足はない状況である
給水人口一人当たり配水量（L/日・人）	－	386.4	397.3	415.1	451.2								380.0	工場使用の増加及び漏水等により目標値を上回っている
給水普及率（％）	↗	97.1	96.9	96.9	97.0								98.0	井戸使用からの切替等はなく普及率は横ばいとなった
管路の更新率（％）	↗	0.8	0.6	0.7	0.3								1.5	水管橋長寿命化等を優先したことにより目標値未達である
管路の耐震管率（％）	↗	48.2	48.8	49.5	49.5								60.0	耐震化も進めたが管路の除却等もあり前年と同率となった

角田市水道ビジョン取組状況（令和5年度）

基本目標 3 持続「持続可能な水道事業」

実現方策3-1 組織体制の整備

＜水道ビジョン年次計画＞

※達成状況：○達成、△取組中、×未達成、－該当なし

施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等
業務増に対応した人員配置の適正化	随時	随時	→	→	→	→	→	→	→	→	→	×	とくに技術職員の若手職員の確保・ノウハウ継承等に課題がある
民間活用業務の導入		検討	→	一部導入	検討	→	→	→	→	→	→	○	検針業務の一括委託を進め、R6.4月より民間へ委託している

実現方策3-2 人材の育成・水道技術の継承

<水道ビジョン年次計画>

施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等
技術継承等のための人材確保・研修の実施			研修参加	→	→	→	→	→	→	→	→	○	感染症による規制が緩くなったことで積極的に研修へ参加できた

実現方策3-3 漏水調査の強化

<水道ビジョン年次計画>

施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等
漏水調査の頻度・方法等の見直し		検討	→	→	→	→	→	→	→	→	→	△	隈東地区の漏水調査を行った(R6は人工衛星を活用した調査を行う)

実現方策3-4 経営基盤の強化

<水道ビジョン年次計画>

施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等
アセットマネジメント手法の確立			検討	実施	→	→	→	→	→	→	→	△	経営戦略改定への反映へ向け台帳整備等を実施する
新たな納入方法等の整備		検討	→	→	→	→	→	→	→	→	→	○	R5.9月に水道使用のオンライン申請を導入、R6.4月～スマホ決済事業者を増やした。

実現方策3-5 施設規模の適正化

<水道ビジョン年次計画>

施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等
管路口径の縮小化、適切な管種の設定	随時実施	随時実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	○	管布設替にあたり需要予測に応じた管口径及び管種を行っている
浄水場施設のダウンサイジング化の実施		随時実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	－	施設・設備更新時期に合わせダウンサイジング化を行う
小田浄水場の停止・地区への安定供給	管路更新	検証	停止	配水系統替 (跡地整理)								○	R5末に浄水場稼働停止をした(R6に小田地区等の配水系統の切替えを行う)

実現方策3-6 省エネルギー化の推進

<水道ビジョン年次計画>

施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等
高効率機器等の導入		検討	→	→	→	→	→	→	→	→	→	－	浄水場設備等の更新時期に合わせ導入を検討する

実現方策3-7 官民連携と広域連携の推進

<水道ビジョン年次計画>

施策内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	達成状況	R5実施内容等
広域連携の推進・包括的民間委託の検討	協議	プラン策定	協議	計画策定	随時実施	→	→	→	→	→	→	△	引き続き県を中心に検討会で協議している(漏水調査の共同発注等を協議)

業務指標による現状と目標値

※目指すべき方向

業務指標による現状と目標値													目標値	
業務指標	方向	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R5進捗説明等
営業収支比率（％）	↗	97.1	95.5	97.7	96.1								100.0	給水収益は伸びたが漏水等による受水費の増により前年度を下回った
経常収支比率（％）	↗	115.8	112.4	104.0	104.0								105.0	高料金対策補助金の対象となったこともあり前年度と同程度となった
総収支比率（％）	↗	113.0	117.6	97.9	94.5								103.0	施設の廃止等による除却が多額となり100％を下回った
給水収益に対する企業債残高の割合（％）	↘	85.4	78.0	77.2	74.6								70.0	償還元金以内の借入れを行い前年度を下回った
料金回収率（％）	↗	102.3	99.4	103.2	101.7								102.0	給水収益は伸びたが漏水等による受水費の増により前年度を下回った
供給単価（円/㎡）	↗	262.0	259.8	258.2	257.3								260.0	前年度比でほぼ横ばいとなった
給水原価（円/㎡）	↘	256.1	261.5	250.1	253.1								255.0	受水費の増などにより前年度を上回った
流動比率（％）	↗	557.1	652.9	517.8	400.2								450.0	投資による現預金の減少・未払金の増により比率は低下した
自己資本構成比率（％）	↗	88.4	89.4	88.5	88.3								85.0	除却費による純損失計上などにより比率は下降した
技術職員率（％）	↗	50.0	36.4	36.4	36.4								50.0	不足の状態が続いており技術継承に課題がある
資格取得者（人）	↗	3	3	3	3								3	職員の新陳代謝に課題がある

角田市水道ビジョン取組状況（令和5年度）

財政収支等の状況

○給水収益(水道料金)

<水道ビジョン年次見通し>

(単位：百万円)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R5実績の説明等
計画値		806	800	809	816	823	819	814	805	801	794	792	家庭用は前年比で減少したが、工場等使用の伸びにより計画値を上回った。
実績値	815	811	827	837									
差異		5	27	28									

○純損益

<水道ビジョン年次見通し>

(単位：百万円)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R5実績の説明等
計画値		80	2	-84	20	34	-66	-19	34	31	30	28	R5は江尻取水場建屋等の解体撤去等により純損益をマイナスで見込んでいたが、施工の一部をR6に見送ったこともあり、計画値を若干上回った。
実績値	115	160	-19	-54									
差異		80	-21	30									

○建設改良費

<水道ビジョン年次見通し>

(単位：百万円)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R5実績の説明等
計画値		251	310	298	394	280	321	421	365	318	315	331	R4からR5への繰越事業による増及びより緊急性の高い水管橋工事を前倒しで 施工したこともあり、計画値を大幅に上回った。
実績値	185	249	204	532									
差異		-2	-106	234									

○資金(現預金)残高

<水道ビジョン年次見通し>

(単位：百万円)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R5実績の説明等
計画値		982	905	794	681	691	600	513	505	536	569	593	資金残高は計画値を若干上回っているが、未払金の増による資金留保があるためであり、ほぼ計画通りとなっている。
実績値	978	1,004	1,020	857									
差異		22	115	63									

○企業債残高

<水道ビジョン年次見通し>

(単位：百万円)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R5実績の説明等
計画値		632	579	524	476	429	385	404	430	464	503	546	昨年度に続く水需要増による新設管布設に対し企業債を発行したので、企業債残高は計画値を上回っている。今後、資金残高とのバランスに留意しながら企業債発行の抑制に努める。
実績値	696	632	639	624									
差異		0	60	100									